

新たな総合計画の 策定に向けて

第1回総合計画審議会が開催

早いもので今年もあと一月となり、気ぜわしさを感じる今日この頃、町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。町では現在、平成22年度の予算編成作業中で、今年から公募の町民の方を含めた「補助金の在り方研究会」を設置し、そのご意見を予算に反映する所存です。

一方、平成22年度をもって終了する「松田町総合計画21」の後統計画の策定準備に入ることになりました。

私は、(仮称)松田町第5次総合計画の策定を、町民の皆様のご意見を反映したものとするため、いくつかの仕組みを考えた次第です。計画審議を行う松田町総合計画審議会にも委員を公募し、委員構成ではお子さんを学校に通わせている若い世代からの参加も図ったほか、町民の皆様はアンケートをご協力いただきたいと考えております。

このアンケートは「住みよい松田のまちづくり」を目指して、多岐にわたる設問がございます。一方、各事業の財源となる町税などが景気低迷により減収しており、とくに心配されるのは人口の減少と連動して納税者の減少が続いていることです。

次期総合計画では人口の減少をくい止め、定住化の促進を図ることも重要な政策課題であると認識しております。定住を図るためには「住んでよかった」という価値観が必要であり、明るく、安全で、便利な町としなくてはなりません。

そのような中で、新松田駅南口駅前の広場整備事業を社会環境の変化など十分に勘案しながら、関係者のご理解を得て、計画的かつ着実に整備を進めていく所存です。新松田駅北口周辺整備も総合計画にその整備の方向性や進め方を整理したいと考えております。

その他、次代を担う子どもたちのため、中学校就学前までの小児医療費を無料化すること、お年寄りや障害のある方々が安心して暮らせるための地域交通手段としてのデマンドバスの導入を検討することや都市型農業として付加価値を高めた農業の展開と共に商業の活性化を図ることも必要です。

一方、平成の大合併が終息に向かう中、ここでの合併は考えにくいものの、私は、いつかは合併というねりが再び訪れるものと考えております。それまでの間は、近隣市町、場合によっては全県的な考えで広域連携を進めていく所存です。将来の合併や広域連携についても町民の皆様のお考えを伺いたいと考えているところでございます。

この総合計画策定のためのアンケートは、策定の原点となる大変に重要なものです。皆様のご意見、ご要望を整理して、総合計画の柱づくりをしたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。

松田町長 鳥村俊介

町の指針となる 総合計画

総合計画

総合計画は町行政を運営するにあたり、指針となる計画で、町が策定するすべての計画(例えば、介護保険事業計画、地域福祉計画など)の基本となります。

現在の松田町総合計画21は、第一に基本構想(平成13年度から平成22年度)があり、その基本構想を受けける形で、基本計画(前期・後期)と実施計画(3年間)が定められています。

基本構想では、まちづくりの基本理念として「環境をまもり、連携するまちづくり」をテーマとし、豊かな自然と地域の安全・活力ある産業や文化が一体となった松田の環境を保全すること、人と地域が連携した生き生きと暮らせるまちづくりを目指すことが示されています。

基本計画は、前期が平成13年度から平成17年度までの5年間、後期が平成18年度から平成22年度までの5年間で「環境にやさしいまちづくり」「安全で快適に暮らせるまちづくり」「活力と魅力のあるまちづくり」「生き生きとした人と文化のまちづくり」「人と地域が連携するまちづくり」が掲げられています。

実施計画は、3年間で単位として策

定され、基本計画で示された施策から具体的な事業を割り出し、財政推計と整合を図る財政計画となつていきます。実施計画は、ローリング方式※をとっており、後期基本計画期間のうち、前期実施計画(平成18年度から平成20年度)と後期実施計画(平成20年度から平成22年度)とで、平成20年度が重なることで事業の見直しを行っています。※実績と計画の整合を評価しながら、ある一定期間ごとに計画の見直しを行うっていく方法

総合計画のあゆみと 新たな総合計画

総合計画は、昭和44年に松田町総合計画(昭和44年度から昭和52年度)が策定され、第2次総合計画(昭和53年度から昭和60年度)、新松田町総合計画(昭和61年度から平成12年度)、松田町総合計画21(平成13年度から平成22年度)と策定され、現在、4期目を迎えています。町では、平成22年度の総合計画期間終了にあわせ、次期総合計画の策定を目指し、審議会の開催するなど、準備を開始しました。

総合計画審議会は、議会、各種委員会や町PTAなど、町関係機関の代表者や有識者、また、一般公募として町民から3名を募集し、計15名の委員で構成されています。このたび、第1回総合計画審議会が10月27日に開催され、審議会委員をはじめとして町長、副町長、教育長、各課長などが一同に集まる中、活発な意見交換が行われました。



▲10月27日に開催された第1回総合計画審議会

全世帯を対象にした 町民アンケートを 12月に実施

総合計画は町の重要な計画であるため、12月中に町内のすべての世帯に対して、アンケートを実施するための準備を進めています。アンケートは、町の各種施策展開に対する町民の満足度、町民が求める行政ニーズを調査、分析し、新たな総合計画策定の基礎資料とします。また、今回の調査では、「基本構想」を策定するため、現都市像の評価や将来の都市像に関する調査を実施するものです。町ではその際、町民の皆さんの率直なご意見をおうかがいし、その意見を極力次期総合計画に反映したいと考えています。ご協力をお願いします。